

～房州の漁村には、光り輝く黒瓦がよく似合う～

みんなで守ろう！地域の宝

青木繁《海の幸》誕生の家・小谷家住宅

昭和初期

館山市指定文化財・修復応援 プロジェクト

明治 37(1904)年夏、画家の青木繁は友人の坂本繁二郎・森田恒友、恋人の福田たねとともに、マグロ漁で栄えていた房州布良(館山市)に写生旅行で訪れました。旅費のなくなった4人の若者は、漁村の親方・小谷喜録の家で40日も世話になり滞在了ました。漁村の人びとに支えられて誕生した名画『海の幸』は日本で最初の重要文化財となり、布良は美術界の聖地として多くの画家に愛されてきました。

小谷家住宅は、安房地域の漁村を代表する分棟型の歴史的建物です。布良は風が強いため、瓦葺で再建されたのは、明治 22(1889)年に村火事が起きた後といわれています。平成 21(2009)年、小谷家住宅は館山市有形文化財に指定されましたが、個人所有のためその維持修理費は大きな負担となります。そこで、全国の画家の皆さん(NPO法人青木繁「海の幸」会)とともに、チャリティ展や館山市ふるさと納税を通じて「小谷家住宅の保存・活用基金」を募り、文化遺産を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

平成 28(2016)年春の公開を目ざし、いよいよ修復工事が始まりました。このたび瓦 2,300 枚の葺き替えに伴い、「瓦プロジェクト(1口 1,000 円)」として多くの皆様にご支援を呼びかけることにしました。ご協力をよろしくお願いいたします。力を合わせて、地域の宝を後世に手渡ししましょう。



福田たね画「青木繁海の幸制作中の追思」(個人蔵)

* 入金先 *

青木繁「海の幸」誕生の家
郵便振替口座 00150-6-616201
1口 1,000 円(複数口も大歓迎!)

※通信欄に「瓦」とご記入下さい。
入会希望者は年会費 2,000 円です。

館山市ふるさと納税では、「小谷家住宅の保存・活用に関する事業」を指定して寄付をすることができます。この寄付は、所得税や住民税が控除となる制度ですので、どうぞご利用ください。

*お問合せは、館山市教育委員会生涯学習課 0470-22-3698 ホームページ <http://www.city.tateyama.chiba.jp/>

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271 <http://aoki-shigeru.awa.jp/>

小谷家瓦 PT 申込書

預り証 =小谷家瓦 PT=

ふりがな

氏名 _____ 連絡先 _____

_____ 様

住所 〒 _____ 円

_____ 円 預り者 _____

◇ 小谷家住宅修復工事の進捗状況のお知らせ ◇

青木繁が小谷家に滞在して『海の幸』を描いてから今年が 111 年目。【青木繁《海の幸》誕生の家・小谷家住宅】は来春の一般公開に向けてプロジェクトが進んでいます。物置を増改築した管理棟が完成し、小谷栄・トシ夫妻の居住スペースをそちらに移して、現在は母屋(文化財部分)の修復に着手しています。

2015 年 1 月 23 日、館山市文化財審議委員の日塔和彦氏、設計監理の中村詔雄社寺設計事務所、施工の菅田建築、NPO 法人「青木繁「海の幸」会、館山市教育委員会生涯学習課とともに、半解体の小谷家住宅の調査確認を行いました。かつてナマコ壁であった痕跡も確認できました。その後、四者協議会で今後の工事方針について確認しました。



小谷家住宅の裏手は絶壁の崖になっています。その土手に植わっている巨木により崖の崩壊が心配されるため、当会のメンバーとご近所の皆さんが力を合わせて、伐採作業に取り組みました。伐った幹は一度落下させ、神社側の通りに滑車で引き上げて焼却処分するという重労働で、大変ご苦労様でした。